


2023年10月22日

神奈川県内 小中学校長様  
神奈川県内 小中学校 囲碁部・囲碁クラブ顧問様  
囲碁教室関係者および囲碁をする小中学生の保護者様

神奈川県中学校囲碁連盟  
会長 山我 智康  
(横浜市立中山中学校長)

## 第23回 神奈川県小中学校囲碁選手権大会新人戦 募集要項

目的	1. 神奈川県の小中学生に囲碁の普及をはかる。 2. 団体戦を行うことにより、部員(仲間)同士の結束を高める。	
主催	神奈川県中学校囲碁連盟 <a href="http://www.ne.jp/asahi/kanagawa.jhs/go.league/">http://www.ne.jp/asahi/kanagawa.jhs/go.league/</a>	
後援	神奈川県教育会館 <a href="http://kec-y.or.jp/index.html">http://kec-y.or.jp/index.html</a>	
日時	2023年 <b>12月10日(日) 9:30 集合</b> <b>13時ごろ終了予定</b>	
会場	神奈川県教育会館 3階会議室(選手権) 4階大会議室(A~D級戦) 〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 <電車> 相鉄線「西横浜」駅または京浜急行線「戸部」駅より歩15分。横浜市営地下鉄「高島町」駅より歩25分。<バス> バス停「水道道」バス停より歩15分。	
参加定員	約165名(55チーム前後)(参加定員を超えた場合は、参加チーム数の多い学校から順にお断りをさせていただきます。)	
参加資格	【中学生】 県内の同じ中学校に在籍している1, 2年生でチームを編成すること。 【小学生】 県内の同じ小学校に在籍している児童でチームを編成すること。	
参加費	1チーム1,500円(顧問・引率者が全チーム分まとめて当日の顧問会議でお支払いください。)	
持ち物	筆記用具、飲み物、昼食、賞状(A4版)入れ、ハンカチ	
申込方法(2通り)	① 本連盟ホームページ(右上のQRコード)から申込書をダウンロードし、 (*ファイル形式はエクセルです。) 入力作成したファイルを【Eメール添付】で申込先に送る。 (*原本は顧問の先生(代表者)が控えとして保管し、大会当日お持ちください。) ② 本連盟ホームページのメニュー【大会申込】から【申込フォーム】にすすみ、入力。 (*大会実施約1週間前に、本連盟ホームページにて、クラス分けの発表をいたしますので、必ずご確認ください。)	
申込先 問合せ先	神奈川県中学校囲碁連盟事務局 三浦 <sup>ひろお</sup> 弘生(桐蔭学園 囲碁部顧問) 【TEL】桐蔭学園 045-971-1413 【Eメール】 <a href="mailto:hmiura@toin.ac.jp">hmiura@toin.ac.jp</a>	
申込期間	<b>2023年 11月6日(月) ~11月24日(金) 締切厳守!</b>	
個人情報の取 扱いについて	大会の成績優秀者は、氏名および学校名、写真、インタビュー記事等を神奈川県中学校囲碁連盟ホームページや囲碁関係の新聞雑誌等に掲載することがあります。不都合があれば、大会事務局までご連絡下さい。	

参加者へのお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手権戦に出場する選手は、学校代表としてふさわしい服装で参加してください。1～3位に入賞すると記念写真撮影があります。中学生は標準服・制服をきちんと着用してください。（標準服・制服がない学校は、襟付きシャツ等の少しフォーマルな服装でお願いします。）</li> <li>・対局中のスマートフォン・タブレット端末等の使用は禁止とします。</li> <li>・ゴミはすべて持ち帰りです。</li> </ul>
引率の先生（チーム引率者）の方々へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は引率の先生（チーム引率者）の方々にスタッフとして大会運営の簡単なお手伝いをさせていただきます。なお、スタッフの皆様にはお弁当と飲み物を用意しています。</li> <li>・スタッフ（顧問）会議に必ずご参加下さい。参加費の徴収も会議にて行います。</li> <li>・参加児童生徒の体調を把握し、体調不良者が参加しないようにご指導ください。</li> </ul>
時程（予定）	<p>&lt;役員集合・開錠&gt; 8:45 （役員の学校、早く着いた学校で会場設営）</p> <p>&lt;全員集合&gt; 9:15厳守（近隣の迷惑となりますので、8:45より前には到着しないこと）</p> <p>&lt;選手受付&gt; 9:15～30（選手各自で受付へ。3階、4階にて）</p> <p>&lt;開会式&gt; 9:30（各部屋ごと）（スタッフは1局目の対局組合せを作る）</p> <p>&lt;対局時間目安&gt; 1局目9:45～／2局目10:35～／3局目11:25～</p> <p>&lt;スタッフ（顧問）会議・参加費徴収&gt; 9:50～10:20（3F本部にて）</p> <p>&lt;盤石・対局時計・机・イスの片付け&gt; 最終局終了後～12:20</p> <p>&lt;閉会式&gt; 12:20～12:30（同じ部屋ごとに行う）</p> <p>&lt;昼食&gt; 12:30～12:50 <span style="float: right;">* 14:00完全撤退</span></p>
注意	本大会は全国大会等の上部大会はありません。

### <競技規定>

1. チームの人数と編成について	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 1チーム3名（主将・副将・三将）による団体戦。補欠を1チーム1名登録できる。補欠は試合ごとに三将とのみ交代できる。チーム内の選手は棋力の高い順に主将から並べること。</li> <li>② 各校顧問（チーム代表者）の判断で、認定大会等で認定された棋力より上の棋力で申し込むことができるが、認定された棋力より下の棋力で申し込むことはできない。</li> <li>③ 同一校より複数チームを申し込む場合は、Aチームの三将（補欠がいる場合は補欠）の次に棋力が高い選手がBチームの主将となり、以下のチームも同様に棋力順に編成する。</li> <li>④ 選手権戦は必ず3名そろわないと出場できない。当日欠席の場合はBチームから補充する。補充ができない場合は失格とする。遅刻の場合は対局時計を進めて待つ。</li> <li>⑤ 選手権戦以外のクラスは、1チーム2名（主将・副将）でも参加できる。その場合は三将を不戦敗とする。当日欠席により2名となった場合も同様。</li> <li>⑥ 申込後の選手変更は、当日朝の受付時のみ。それ以降は変更できない。</li> <li>⑦ 複数チームを申込済みで、当日選手が欠席した場合は、下位のチームから上位のチームに選手を順に上げて補充できる。ただし、上位から下位に選手を下げての補充はできない。</li> </ol>
------------------	---

2. クラス分け と対戦組合 せについて	<p>① 主将と副将の平均棋力上位のチームから順に、選手権戦、A級戦、B級戦・・・と、事務局の判断でクラス分けをする。</p> <p>( * 大会実施1週間前に、ホームページでクラス分けを発表します。 )</p> <p>( * 今大会は小学校チーム、中学校チーム混合でクラス分けを行います。 )</p> <p>② 選手権戦は各校1チームまでとする。他のクラスは同一校同士の対戦もありうる。</p> <p>③ 各クラスとも最大8チームによる計3回戦を基本とする。簡易スイス方式(同じ勝敗同士によるくじ引き)で組合せを決定。 * 13路盤または8チームに満たない時は、総当たり戦の場合もある。</p>
3. 順位の決定	<p>① 勝敗、②SOS(対戦相手の勝ち数の合計)、③SOSOS(対戦相手のSOSの合計)</p> <p>④ 直接対戦の結果、⑤主将の勝ち数の合計、により順位を決定する。⑤まで同じ場合は同順位。</p>
4. 対局ルール	<p>① 19路盤を使用する。一番下のクラスでは13路盤を使用することもある。</p> <p>② 対局はすべて互先(コミ6目半)とする。主将が握って先番(黒番)を決め、以下交互に白番、先番とする。例)主将が先番なら、副将は白番、三将は先番。</p> <p>③ 19路盤では対局時計を使用する。選手権戦では、持ち時間20分 + 切れたら1手10秒。他のクラスでは20分切れ負け。対局時計を置く場所は白番が決める。時計は石を打った方の手で押す。アゲハマをたくさん取り上げる時は、いったん時計を止めてもかまわない。</p> <p>④ 問題が生じた場合は、対局中にすぐスタッフに申し出ること。</p>
5. 表彰	<p>・選手権戦では全チームに、その他の各クラスでは、1～3位に賞状を授与する。</p>
その他  今大会における小学校 チームの参加について	<p>・今大会は本連盟が主催する団体戦としては初めて、小学校チームと中学校チームが同じクラス内で戦う大会となります。</p> <p>・以前は小学校団体戦だけ別クラスで行っていましたが、参加校の減少やコロナによる大会規模縮小を理由に、ここ数年は小学校団体戦をおこなっていませんでした。</p> <p>・今回、小学校団体戦クラスを中学校と別に分けなかった理由は次の通りです。</p> <p>小学校団体戦クラスだけを別に行えるほど参加者がいるとは想定していないこと。</p> <p>現運営スタッフの人数に、別クラスを1つ増やす余裕がないこと。</p> <p>小学生同士で対戦することよりも、たとえ相手が中学生であっても棋力が近い者同士で対戦することの方が、囲碁の楽しさや上達につながると考えていること。</p> <p>全国大会のような上部大会の予選を兼ねないので、小中合同で行っても問題がないこと。</p> <p>参加者の皆様のご意見も伺いながら、今後の団体戦のあり方を考えていきたいと思えます。スタッフの皆さんは反省アンケートにご意見をお寄せください。小学校チーム引率の方はぜひ運営役員に直接感想をお伝えください。よろしくお願いいたします。</p>

#### 4. 団体戦のチーム編成のルールについて

募集要項では詳しくご説明することができず、結果として、毎年申込時のトラブルが多い、団体戦のチーム編成の仕方についてご説明いたします。

7人の部員がいる学校を例として、ご説明します。

直近の段級位認定大会で認定された段級位が、次のようだったとします。  
 芝野8級、一力8級、藤沢10級、上野12級、小池14級、仲邑&辻は大会後に入部したので認定なし

##### × 認定された級通りにAチームから並べたが、実際の実力と違う

Aチーム	Bチーム	
主将 <b>芝野 8級</b>	主将 <b>上野 12級</b>	*実際は藤沢より上野の方が強いなら、この編成は×
副将 <b>一力 8級</b>	副将 小池 14級	
三将 <b>藤沢 10級</b>	三将 <b>仲邑 23級</b>	*三将と補欠は4回戦を交互に2回ずつ登場
補欠 なし	補欠 <b>辻 25級</b>	

ルールでは、強い選手から順にAチームから編成することとなっています。  
**芝野と一力は同じ8級ですが、芝野の方が少し強いと言うので、芝野を主将にしました。**  
 また、初心者は「終局が分かるレベルを25級とする」とありますが、  
**仲邑と辻は二人とも終局は分かりますが、仲邑の方が少し強いので顧問の判断で仲邑を23級、辻を25級としました。**

Aチームを4人にしても良いのですが、4人チームの三将と補欠は交代で出場するので対局数が少なくなります。そこで、弱い方のBチームを4人に行ってみました。  
 ミーティングでメンバーを発表したところ、部員から次のような意見が出ました  
**「先生、上野さんは藤沢さんより強いです。部内で対戦すると必ず上野さんが勝ちます。」**

##### × 実際の実力通りだが、ルール違反（認定された級よりも下げてしまう＝実力を偽る×）

Aチーム	Bチーム	
主将 芝野 8級	主将 <b>藤沢 10級→13級×</b>	認定された級より下げるのは×
副将 一力 8級	副将 小池 14級	
三将 <b>上野 12級</b>	三将 仲邑 23級	
補欠 なし	補欠 辻 25級	

そこで、上野と藤沢を入れ替えましたが、そのままでは、「強い順に並べる」に反します。  
 そこで顧問の先生は藤沢を13級に変更しました。ブッブー！  
 これもルール違反です。「すでに認定された級よりも下げてはいけません。」  
 それは実力を偽って、自チームを有利な状況にすることにつながるからです。  
 しかし、逆に、「すでに認定された級よりも上げることはかまいません。」  
 それは、認定された後に、さらに実力が伸びたと顧問が判断したことになります。

##### ○ 実際の実力通りで、ルール上も正しいチーム編成

Aチーム	Bチーム
主将 芝野 8級	主将 <b>藤沢 10級</b>
副将 一力 8級	副将 小池 14級
三将 <b>上野 12級→9級</b>	三将 仲邑 23級
補欠 <b>級を上げるのは○</b>	補欠 辻 25級

上野を藤沢よりも強い9級に上げることで、実際通りでルール上もOKの編成となりました。